Aspect Works

CHICO CARLITO - ユガフ

feat. OZworld, 柊人&CHOUJI

撮影 PPM 資料

2026.11.11

撮影概要

10/26 に撮影予定の CHICO CARLITO - ユガフ feat.OZworld, 柊人＆CHOUJI の MV 撮影です。
メインが 26 日になっており、柊人さんは 11 月初旬でのシーン撮影予定です。

日程

撮影日：2026 年 10 月 26 日、11 月 16,18 日

場所（✅決定済み）

・ローソン外✅
・若狭海浜公園✅
・DGH 作業場✅
・竜丹✅
・パーラー輪✅
・県営団地屋上✅
・街中✅
・恩納村周辺海域、漁港
・識名園✅

演者（✅キャスティング済み）

・CHICO CARLITO✅（25 日入り）
・OZworld✅（26 日入り）
・柊人✅（25 日入り）
・CHOUJI✅
・他エキストラ等

スタッフリスト

Production：株式会社 CUE
Producer：大塚奨太（株式会社 CUE）
Director：tarutaru / 城田優輔（Aspect Works）
DP : 森優斗
2nd AC : 玻座真世（SAT）
Lighting Chief : 知念求（AND Okinawa）
Lighting Assistant : AND Okinawa
PC：玉城 翔太（株式会社 CUE）
PA：比嘉麻人、小橋川飛鳥
Edit：tarutaru / 城田優輔（Aspect Works）
Colorist：名渡山 先人（ARTONE FILM）予定

ストーリー




壺川、海、若狭。三人の現実を、OZworld＝“南風”がひとつに結ぶ。

CHICO CARLITO、柊人、CHOUJI の三人が、それぞれの地元やルーツに根差した日常と葛藤を歌い、
OZworld のフックがそのすべてを包み込む。三人のバースは、本人たちが実際に生きてきた場所を
舞台にしたドキュメンタリーとして描く。一方、OZworld は「沖縄の神様」を直接演じるのではなく、
島を見守り、三人をユガフへと導く“南風の化身”や“島の意志”のような象徴的存在として表現する。
現実に根差した三人の世界と、神話的で神聖な OZworld の世界を交差させることで、沖縄に流れる
目に見えないつながりを映像化する。

撮影リスト

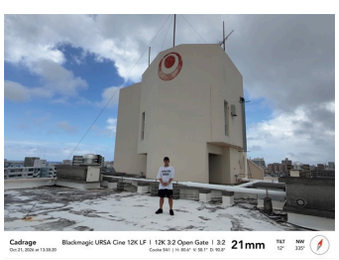
CHICO CARLITO｜壺川・街の記憶

ロケ地：竜丹（街中華）、県営大橋市街地住宅、壺川駅沿い、パーラー輪







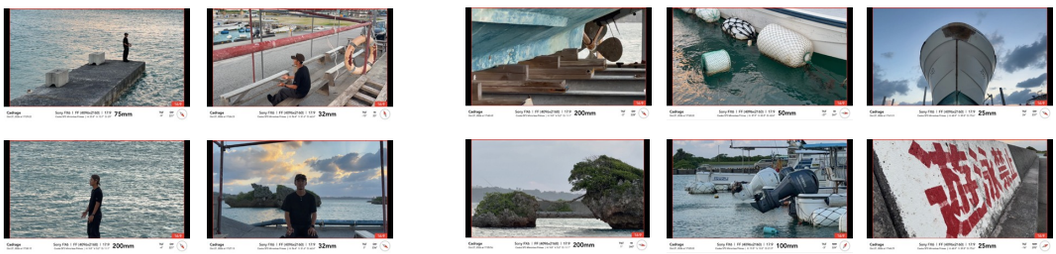


CHICO CARLITO が生まれ育った壺川。
竜丹（街中華）、県営大橋市街地住宅、壺川駅沿い、パーラー輪など地元の大切な場所を、見慣れていた街
とは思えない、新鮮な視点から切り取る。生活感を残しながら、壺川の街全体を巨大セットのように見せる。
CHICOCARLITO は街の中を歩き、自分を育てた風景と対話するようにリップする。
※県営大橋市街地住宅は後日ドローン撮影あり

竜丹：注文してリップ、食べる、調理インサート、店主夫婦表情インサート
県営大橋市街地住宅：リップ、風を感じる CHICO さんインサート、街の様子インサート
パーラー輪：ぜんざい買う・食べる、立ち去る

柊人｜海・生業の記憶

ロケ地：漁港、海中、船上

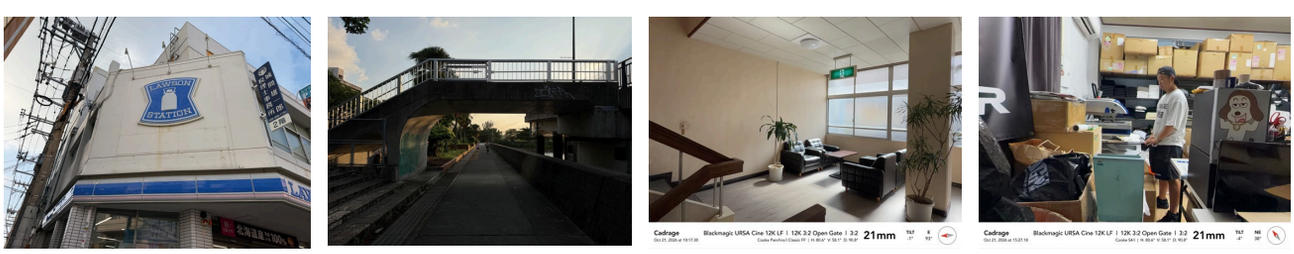


歌手になる以前、モリ突き漁師として海に生きていた柊人の原点を映す。
実際のモリ突き漁を水中カメラで追い、海中へ差し込む光、呼吸の泡、モリを握る手、海中の静けさを捉える。船上や漁港では、先輩漁師や仲間たちと自然に言葉を交わす姿を撮影し、その日常の延長線上でリップシーンを展開する。単に美しい海を見せるのではなく、海に生かされ、海と向き合ってきた人間の身体感覚まで映し出す。台風接近中に伴い、日程と漁港調整中。

漁港：漁師との談笑、おじーおばーの表情、バースフルリップ
船上：仲間とのやりとり、潜る準備、潜る（海に入り浮かぶ）
海中：潜る後ろ姿、上がってくる姿、仰向けに沈んでいく表情（泡ぶくぶく）、実際に魚を突いた

CHOUJI｜若狭・生活のリアル

ロケ地：若狭海浜公園、若狭ローソン、新里ビル（若狭ローソンの建物 2F）、DGH 作業場（古島）



那覇の中でも一際ディープな街若狭。その複雑に絡み合う情景を切り取る。海沿いの公園や、若狭ローソン DGH 作業場、新里ビル、さらに街を飲み歩く人々、飲み屋のキャッチなど夜の街を行き交う人々を、観察映画のような距離感で捉える。若狭の時間は止まることはなく、CHOUJI もまたその一部として呼吸し続けるリアルを、そのまま格好よく見せる。

ローソン：ローソン大看板上に座る or 立つ下から煽り（写真より寄り）、街を眺めタバコを蒸す（横顔）窓から室内に入る
新里ビル内：窓から入ってくる、座りほっと一息、タバコを灰皿に捨てる、バースフルリップ、出ていく
若狭海浜公園：壁にもたれ掛かりリップ、インサート
DGH 作業場：コツコツ仕事をしている様子、表情、手元、バースフルリップ

OZworld｜島を見守る存在

ロケ地：識名園







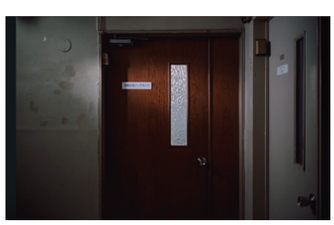
OZworld は三人とは異なる時間軸に存在し、島全体を見守っているように登場する。庭園、森、風の通る高台など、自然の力を感じる場所でフックを歌う。特定の神様や宗教者を再現するのではなく、光、風、衣装、佇まいによって“ユガフを運ぶ南風”を擬人化した存在として描く。フックに入るたび OZworld の場所から風が生まれ、その風が壺川、海、若狭へ渡っていく。
三人の人生を遠くから見守り、背中を押しているような関係性をつくる。

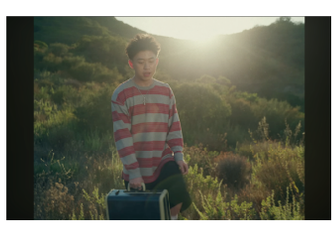
六角堂：六角堂前の石橋城でフックリップ（引き寄り）、インサート
池前：池の反射リップ、奥の石橋や島でリップ（ワイド）、寄りで祈るようなショット（ニュアンスカット）
ガジュマル前：ガジュマル前にてバースリップ（引き寄り）、OZ さん表情・パーツインサート、
CHICO さん込みリップ、CHICO さんインサート（表情、パーツ）

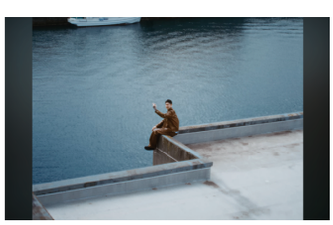
撮影トーンイメージ



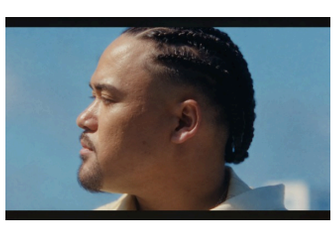


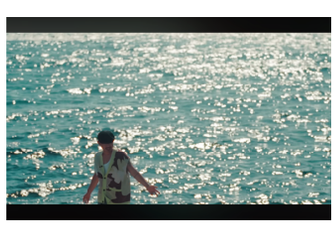












トーンとしては、沖縄県民にはどこか懐かしく匂いや風、時間を感じるようなしっとりしたトーンで行きたいです。他県の人が見ても、過去に訪れた沖縄を思い出し、また行きたいと思わせる、いなたさも新しさもかき混ぜたものです。コントラストは強すぎず、かといって色味も濃ゆすぎず、だけど一つ一つのシーンに想いがのるそんなトーンです。

演出プラン

イントロ（10s）

・CHICO さん居ない状態からドリーイン

・イントロは、団地屋上で風に吹かれる
CHICO さん横顔や、街のニュアンス
インサート







CHICO CARLITO さんバース（40s）

●竜丹

・バース始めに「世果報」の漢字タイトル。
インサートの上被せ

・CHCO さん横打ちリップ

・前カットの横打ちリップからの正面
振り向いてリップ
目の前にどんぶり登場
→五目焼きそば？

・熱々の五目焼きそばを食べている
インサート。シズル感、ホクホク感

・箸を持ちながらリップ

・店主２人の笑顔
※ファンモンジャケイメージ







●街（パーラー輸込み）

・様々な街の画
・リップ等は無し

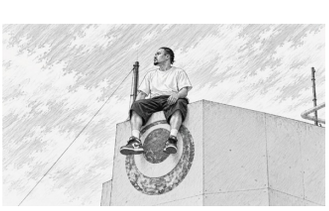




●県営大橋市街地住宅屋上

・風を感じている CHICO さん
→最初の画ではどこなのかわからない

・ワイドでリップ
→森と現場調整


Aspect Works

柊人さんバース（40s）

●漁港

・漁港でどこかいなたさを感じるフルリップ
・柊人さん海抜けリップ
・海人の仲間や先輩とゆくってる様子
→柊人さんはどこか心ここに在らずで
フルリップ






●海中

・漁港でどこかいなたさを感じるフルリップ
・柊人さん海抜けリップ
・海人の仲間や先輩とゆくってる様子
→柊人さんはどこか心ここに在らずで
フルリップ





●天ぷら屋←調整中

Aspect Works

CHOUJI さんバース（40s）

●ローソン前

・ローソンからのジブダウンで
CHOUJI さん出てくる

・ふと上を見上げると、看板から CHOUJI さんの顔が出てリップしている

・CHOUJI さんは２度見する、目を擦る幻覚だった。朝４時だから疲れてるのか ...












●DGH 作業場

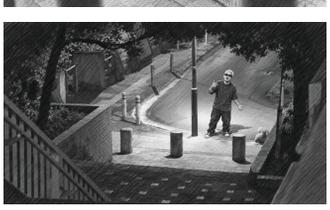
・ドリーイン
・リップ等は無し



●若狭海浜公園

・公園の至る所でリップ
・タバコを蒸す
・基本カメラは見ない
・インサート等



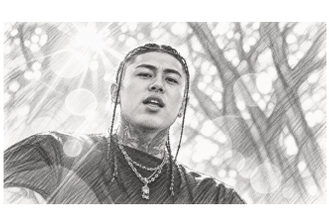
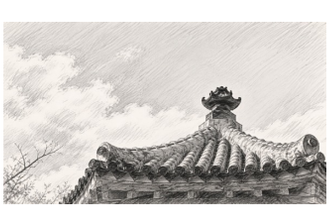



OZworld さんバース（40s）

●識名園

・橋の上で背景圧縮リップ
・六角堂前の橋でリップ（ジンバル）
・ガジュマル前祈りインサート
・ガジュマル前インサート

・ガジュマル前 CHICO さんインサート and リップ





連絡先

何かご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

Producer

大塚 奨太 / Shota Otuka
MAIL：shota.otsuka1993@gmail.com
TEL：080-1259-6245
Instagram：@shota_o2ka

Director

城田優輔 / tarutaru
MAIL：yusuke4273@gmail.com
TEL：080-2783-4273
Instagram：@tarutarujp